



第2部 インフラ、TOOL関係 ～バージョンアップ内容ご説明～

SuperStream

エス・エス・ジェイ株式会社
カスタマーサポート部
十河 祐介



COREシリーズの周辺インフラの追従について



COREシリーズWindows7対応について

SuperStream

Windows7のシェアが急増

Windows7のシェアは2009年10月リリース以降、既に市場で7.5%を突破
*SuperStream*ユーザで特に新規ユーザ案件で数多くのお問い合わせ

*SuperStream*のWindows7 対応予定について

製品	対応バージョン	対応時期	備考
COREシリーズ	SP2010以降	2010年10月～12月	
V3・unoシリーズ			
<i>field</i> シリーズ			
<i>Planning</i>			
connect			

※詳細は日程が近づきましたら別途SS-Expressにてご案内させていただきます

● 64bitサーバのインストーラ対応について

DBサーバとして64bitサーバの提案が急増
今後インストーラであるStream Visionの64ビットを対応予定

● Oracle 11gR2の対応について

2010年5月18日Oracle 11gR2(Windows版)がいよいよリリース
SuperStreamもあわせて今後対応予定

● Windows 2008 Server R2の対応について

R2では64ビットを前提として仮想環境やハイパフォーマンスのニーズを吸収
SuperStreamもあわせて今後対応予定

上記3点への対応バージョンはSP2010以降とし、
提供時期を2010年10月～12月を予定しております

※詳細は日程が近づきましたら別途SS-Expressにてご案内させていただきます

ご注意事項

～Windows2000,Windows2000Serverのサポート終了について～

SuperStream

Windows2000及びWindows2000Serverのサポート終了について

Windows2000,Windows2000Serverの対応は
SP2010以降はサポート対象外となりますのでご注意ください

背景

Microsoft-OSのWindows2000及びWindows2000Serverは、
既知のとおり、2010年7月13日でマイクロソフト社のサポートが終了します。
よって2010年7月14日以降、マイクロソフト社では、Windows2000及び
Windows2000Serverに関する問合せを受付けて頂くことが出来ません。

*SuperStream-CORE*シリーズについても上記背景の事情により
SP2010版は、Windows2000及びWindows2000Server環境における運用は
サポート対象外とさせて頂き、またSP2009に関しましても、OSに伴う問題は
上記理由により解決出来ないケースがございますので、早期のバージョンアップの
ご検討をお願いします。

*SuperStream*の仮想化環境について



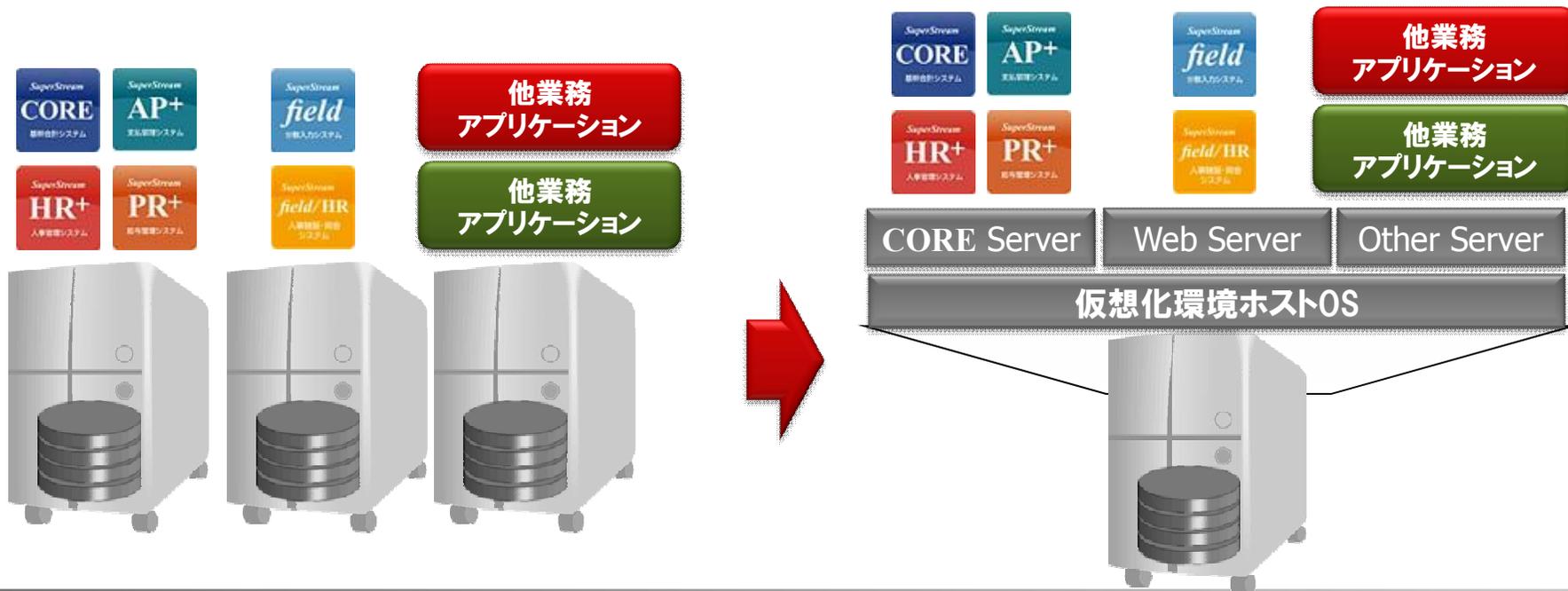
仮想化 および VM各製品の対応について

～Vmware/Hyper-V/OracleVM上での動作をサポート～

「Vmware/Hyper-V/OracleVM」仮想化3製品の
仮想環境上での*SuperStream*動作サポートを行います

主なメリット

- 物理サーバの統合による管理コスト削減（ユーザ様環境、パートナー保守環境）
- フルバックアップ環境が容易に実現（ユーザ様環境、パートナー様保守環境、デモ環境）
- システム導入作業工数の削減（インストール、導入支援手法）



仮想化環境における*SuperStream*のサポートポリシー

仮想化環境における*SuperStream*のサポートポリシーについて

SSJは*SuperStream*がサポートされているOS/DB環境において、「VMware・HyperV・OracleVM」の*SuperStream*の動作サポートを致します。ただし、仮想環境に起因した問題が発生した場合、仮想化製品ベンダー様のサポートをご利用頂くこととなります。

補足:SSJのスタンスについて

上記3製品と*SuperStream*の全てのバージョンの組み合わせをSSJで動作検証することは出来ませんが、仮想化環境製品が動作サポートしているOS/RDMSにおいて*SuperStream*の稼働条件(OS/RDBMS等)が満たしていれば、基本的に*SuperStream*の動作は問題ない、と考えています。

SuperStream TOOL

～新規追加・改善機能説明～

1. *StreamVision* 断片化解消機能
2. リスト管理サーバー 帳票振り分け機能のパフォーマンス改善
3. ClientMGR ログ設定機能追加

TOOL *StreamVision*

～1-1. 断片化解消機能～



■ 機能追加背景

*SuperStream*のデータベースでは長期間運用した場合、TABLEの断片化が発生し、パフォーマンスに影響を及ぼすことがありました。従来は、断片化の解消として、DBのExportおよびImportを行って頂いていましたが、作業の際に業務を停止する必要があり、大掛かりな作業になっていました。

■ 機能内容

*StreamVision*のテーブルマネージャからTABLEごとにShrink(断片化の解消)を処理できます。

■ メリット/効果

一定の断片化を解消することが可能になることで、パフォーマンスの改善が見込めます。

■ 対応プログラム

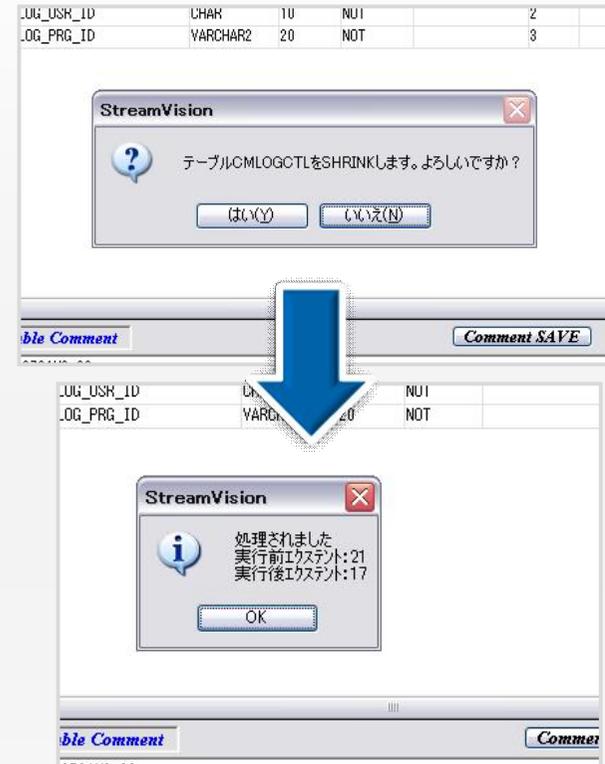
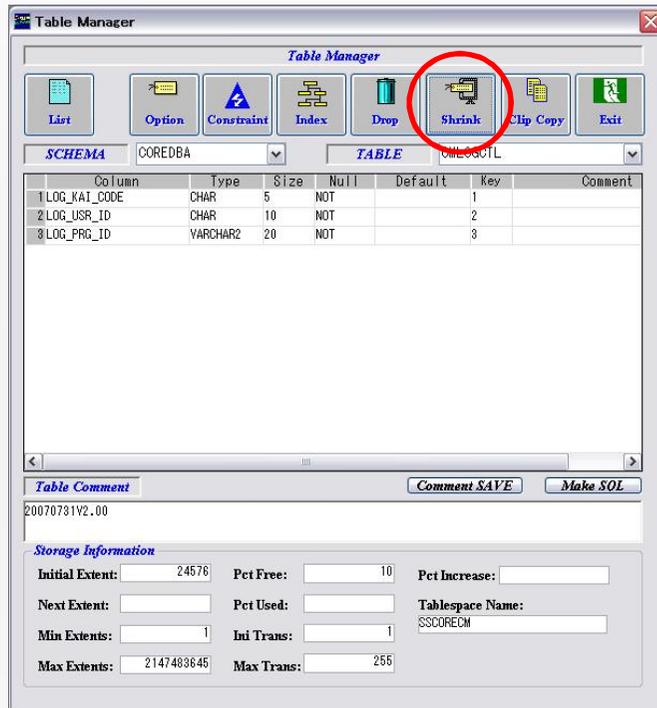
- streamvision.exe

TOOL *StreamVision*

～1-2. 断片化解消機能～

SuperStream

【Table Manager画面】



■ 備考

Oracle9とOracle10g以降では発行されるコマンドが異なります

TOOL リスト管理サーバー

～2-1. 帳票振り分け機能のパフォーマンス改善～



SuperStream

■ 機能追加背景

リスト管理サーバーの帳票振り分け処理について、フォルダ数が多くなった場合に、パフォーマンスに問題が生じるケースがありました。

■ 機能内容

リスト管理サーバーの帳票振り分け処理のパフォーマンスを改善を実施しました。

■ メリット/効果

リスト管理サーバーの帳票振り分け処理待ち時間が大幅に短縮されます。

■ 対応プログラム

・ CMSPRINT.exe

TOOL リスト管理サーバー

～2-2. 帳票振り分け機能のパフォーマンス改善～



■ 計測結果

前提条件

- ◆ 振り分け先1000個のフォルダに対して、100帳票出力
- ◆ クライアント Intel Core2 Duo/2.13GHz、メモリ/2GB
- ◆ ネットワーク 100Mbps

上記環境で計測した結果

改善前	改善後
8分3秒	1分37秒

※ SSJ社内環境での計測のため、計測結果は参考情報としてご利用下さい。

TOOL ClientMGR

～3-1. ログ設定機能追加～



■ 機能追加背景

現行のClientMGRでは、接続状況ログの削除件数指定が最大99,999件までしか設定ができなかったため、最大件数を超えた場合にはログデータが削除されていました。

■ 機能内容

「ログ設定」画面に「自動削除なし」のチェックボックスを追加しました。

■ メリット/効果

大量の接続状況ログを保存できるようになりました。

■ 対応プログラム

- ClientMGR.exe

TOOL ClientMGR

～3-2. ログ設定機能追加～

SuperStream

【ログ自動削除数の設定画面】

ログ自動削除数の設定

接続状況ログは自動的に削除する数を設定する事が出来ます。

設定値 (最小値 1000 最大値 99999)

ログ自動削除数 自動削除なし

ログ自動削除数+200を超えた時点で、接続状況ログがすべて削除されます。

設定 閉じる



ご清聴ありがとうございました。

SSJ
SuperStream